

< 今日の説教のポイント ルカによる福音書 18 章 31～34 節 >
イエス・キリストの十字架の死と復活の核心に迫る個所。三つの？

1 なぜ見出しに「三度（死と復活を～）」と付けられたのか？

聖書本文ではない見出し文に「イエス、三度死と復活を予告する」とありますが、他の二回はどこでしょうか？ それは 9 章 21 節以下と 9 章 43 節以下です。それまでのイエス様の権威ある言葉と不思議な奇跡を起こされる行為に、このご自身の死と復活の予告が加わった最初です。同時にそれは弟子たちには理解できなかつたと記され出す始まりでもありました (9:45、18:34)。9 章にはモーセとエリヤが現れて「イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最後について話していた」(31)という、私たちの理解を超えた不思議な出来事も記されています。イエス様の十字架の死と復活の出来事、それはまず、私たちには理解できないことを神様がなそうとされている出来事なのです。では、その出来事で神様は何をしようとしておられるのでしょうか？ その答えのヒントは、「人の子について預言者が書いたことはみな実現する」(31)にあることが示されています。

2 「預言者が書いたこと」とはどこを指すのか？

では、これは旧約聖書のどこを指しているのでしょうか？ イザヤ書 52 章 13 節～53 章 12 節と詩編 22 遍です。この二つの箇所には、今日の 32～33 節に出て来る 6 つのイエス様に対するひどい仕打ちの表現をほうふつとさせる場面が出て来ます。そしてイエス様の十字架の死と復活の出来事と重ね合わせて読む時に初めて双方が持つ意味、すなわち父なる神様へのあつい信頼（仰）と苦難の僕の苦しみが持つ意味（全ての人を罪から救う）が理解できて来るのです！

3 弟子たちの無理解は何によって解決されるのか？

この答えは、イエス様が復活された後、エマオに向かう弟子たちに聖書の解き明かしをされた出来事によって示されています (24:27、32、45)。聖書は、①唯一の真の神様が世界とその中に在る全てのものを造られ、愛して下さる ②にもかかわらず、その神様に背を向けて生きる私たちに ③御子イエスをお与え下さり、その御子を殺してしまふ私たちに対して、死んだ御子を復活させて下さることによって私たちの罪を赦して下さることを示して下さいましたのです！ この神様を信じて生きる恵みの道以外にどの道を行くというのでしょうか？！